



新潟産業大学 地域に学び、地域をおこす
Niigata Sangyo University

2022年度地域理解ゼミナールⅢ 合同発表会

地域農業・6次産業分野

発表者：海南 良充・熊倉 綾香

近藤 渚・丸山 勇騎

発表テーマ

「柏崎における6次産業化」

担当教員：金 光林

2022.7.21

地域理解ゼミⅢの地域農業・6次産業 分野の授業から学んだ内容

教室での勉強内容

日本の農業と農家の現状、農業ビジネスの現状と事例
日本と世界の食料問題、食品のロスの問題、食品
企業（業界）、食品安全などについて勉強

地域理解ゼミⅢの地域農業・6次産業 分野の授業で学んだ内容

フィールドワーク

- 5月26日（木）

ファームくじらなみの観光いちご園見学

- 6月2日（木）

- 新道柿栽培団地で柿の摘果作業。

- 6月23日（木）

シモダファームの越後バナナ園見学

- 6月30日（木）

金ゼミの堀の菜園でじゃがいもの収穫

ファームくじらなみ観光いちご園見学 (2022年5月26日)



新道柿栽培団地での柿の摘果作業 (2022年6月2日)



シモダファームの越後バナナ園見学 (2022年6月23日)



金ゼミの堀菜園でのじゃがいもの収穫 (2022年6月30日)



地域理解ゼミⅢの地域農業・6次産業 分野で一緒に学んだ学生たち

海南 良充・小川 虎太郎・熊倉 綾香・
高井 海音・前野 美月・近藤 渚
田口 涼子・本間 優衣・丸山 勇騎
(以上9名)

6次産業化とは

農林漁業の6次産業化とは、1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組である。これにより農山漁村の所得の向上や雇用の確保を目指している。

* 農林水産省の公式見解（農林水産省のHPによる）

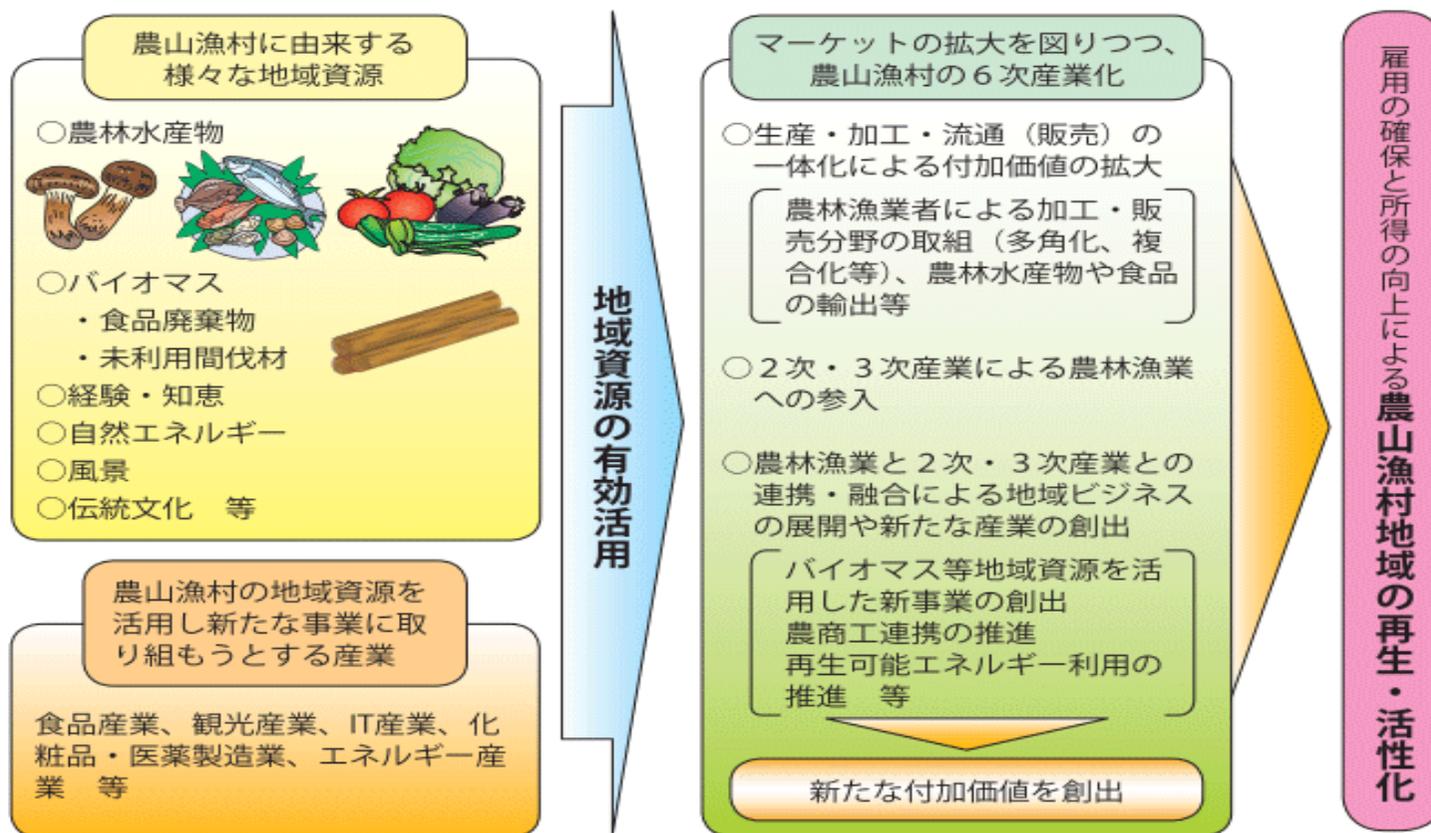
6次産業化とは

- ▶ 6次産業化とは、1次・2次・3次それぞれの産業を融合することにより、新しい産業を形成しようとする取り組みのことである。簡単に言えば、生産者（1次産業者）が加工（2次産業）と流通・販売（3次産業）も行い、経営の多角化を図ることと言える。
- ▶ 6次産業の「6」は、1次・2次・3次のそれぞれの数字を掛け算したものであり、産業の融合を図り、新たな価値を生み出すことを意味している。

* 農業求人サイト「農業ジョブ」 <https://agrijob.jp/>の解釈

農業・農村の6次産業化のイメージ

図3-9 農業・農村の6次産業化のイメージ



資料：農林水産省作成

6次産業化の主な取り組み分野

- 農産物の加工と販売
- 観光農園
- 農家レストラン
- 農家民泊

* 農業求人サイト「農業ジョブ」 <https://agrijob.jp/>参考

6次産業化のメリット・デメリット

メリット：

- 所得の向上
- 雇用の創出
- 風土や伝統文化の保全
- 地域の活性化

デメリット：

- 多額の投資が必要になる
- 厳格な衛生管理が必要になる
- 専門的な知識が必要となる

* 農業求人サイト「農業ジョブ」 <https://agrijob.jp/>参考

柏崎における 6次産業化の主な事例

- ファームくじらなみ
- シモダファーム
- 鎌田養鶏株式会社
- 日本海石地わさび園

ファームくじらなみ

会社概要

会社名	株式会社 ファームくじらなみ
代表者名	代表取締役 吉原 昭法
所在地	新潟県柏崎市大字鯨波乙568番地6 TEL 0257-24-7555 FAX 0257-22-7116
設立	平成22年 9月
事業内容	農業全般
資本金	1,700万円
取引銀行	柏崎農業協同組合、柏崎信用金庫
事業許可・資格	柏崎市農業経営認定
従業員数	7名 (2022年1月 現在)

事業内容



引用：ファームくじらなみHP

- 越後姫（いちご）やブルーベリーの観光農園経営
- 4棟のハウスを観光いちご園として営業
- コシヒカリの栽培販売

- ・ブルーベリーの摘み取り園



引用：ファームくじらなみHP

- ・コシヒカリの水田栽培



引用：ファームくじらなみHP



シモダフォーム

会社概要

会社名	シモダ産業株式会社
代表者名	代表取締役社長 / 霜田 彰
所在地	新潟県柏崎市松波2丁目6番43号
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・ 産業廃棄物中間処理（焼却処理）・ 特別管理産業廃棄物中間処理（焼却処理）・ 産業廃棄物 収集・運搬・ 特別管理産業廃棄物 収集・運搬
設立	設 立 / 昭和37年6月
資本金	資本金 / 9000万円

シモダファームとは

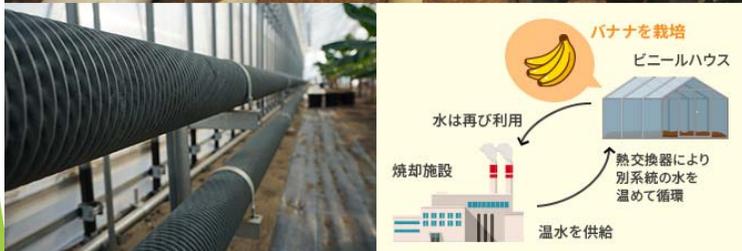
商品の越後バナナ



引用：シモダ産業株式会社HP

- シモダ産業による新しい農園で、新潟県初の大規模バナナ栽培施設でもある。
- 越後バナナを皮切りに、地元柏崎で様々な農産物を栽培し、新たな活力として地域に役立つことを目的に立ち上げられた。

シモダ・ファームの特徴



- 「シモダ・ファーム」は、近くの産業廃棄物焼却施設で発生する排熱を利用している。
- この排熱をハウスに供給することでハウス内の温度を一定以上に保ち、バナナの生育に適した環境を作り出している。
- 「サーマルリサイクル」によって栽培される国産バナナは国内で唯一「シモダ・ファーム」だけである。

引用：シモダ産業株式会社HP

取り組み

- ① 等外品を県内製菓店や飲食店向けに提供
- ② ①を活用した県内企業さまとの商品開発
- ③ 地元小中学生を対象とした農園見学や農業体験、出前授業
- ④ 柏崎市高柳門出和紙の協力によるバナナの古木等を再利用したバナナペーパーの製作



鎌田養鶏株式会社

鎌田養鶏株式会社とは

商号	鎌田養鶏株式会社
本社 生産農場 肥料工場 (産廃処理施設)	〒949-4127 新潟県柏崎市西山町鎌田字坂の下127番地
設立年月日	昭和51年10月1日
代表者	代表取締役 立川正好
資本金	1,000万円
従業員数	46名 (パート・アルバイト含む)

鎌田養鶏株式会社の事業内容

- 養鶏採卵及び販売
- 産業廃棄物の収集、運搬及び処分業
- 特殊肥料製造および販売
- 菓子製造及び販売
- 飲食店（レストラン・喫茶店）経営、仕出し弁当製造および販売

鎌田養鶏株式会社の6次産業化

- 養鶏採卵及び販売（生産・販売）

（地産地消推進のため、指定配合飼料に加えて新潟県産の飼料用米も使用（生産）

- 養生卵とスイーツの直売所「たまご畑」（in 柏崎）（加工・販売）

（「たまご畑」を一部改装し、菓子製造施設を開設）

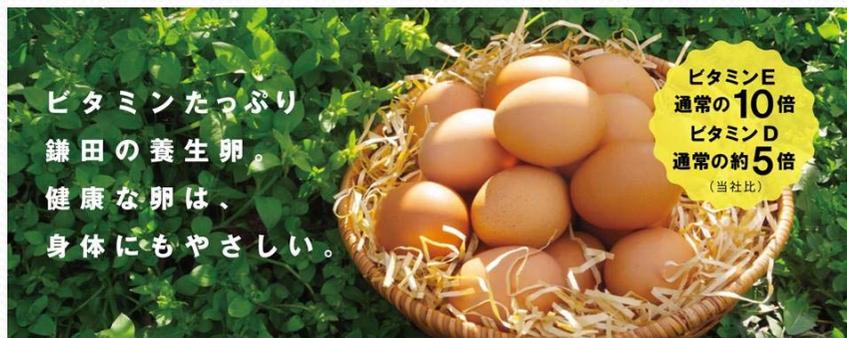
- 養生卵とスイーツ販売店「エッグガーデン」（in 上越）（加工・販売）

- 養生卵とスイーツ販売店「たまご畑十日町」（in 十日町）（加工・販売）

- 直営のレストラン「至福の時間」（サービス業）

* 鎌田養鶏場は6次産業化の生産・加工・販売というすべてを行っていて、柏崎における6次産業化の典型的な事例である。

鎌田養鶏株式会社の商品と直営店(一部)



鎌田養鶏株式会社HPによる引用



日本海石地わさび園

日本海石地わさび園とは

株式会社 土佐工務店が運営する新潟県内初の観光わさび農園

〒949-4204 新潟県柏崎市西山町大崎1788-6(石地海岸地内)

開園時間 10:00~16:00 (7~9月は17:00まで営業)

土佐工務店とは

株式会社土佐工務店

所在地 〒949-4126 新潟県柏崎市西山町下山田99

昭和47年4月 土佐工務店 創業

従業員数20名

資本金 10,000,000円

平成23年4月 新潟県産業創造機構 (NIKO) の採択を得て、
わさびの栽培・加工・販売 農業事業に着手

日本海石地わさび園の6次産業化

- 通年収穫できる生産体制、加工場、直売所の運営などわさび栽培の六次産業化に積極的に取り組んでいる。
- 飲食店やスーパーへの出荷だけでなく、直売所、ネット販売や自社ブランド・OEM（Original Equipment Manufacturing）、日本語では「相手先ブランド名製造」の意味）の加工品まで手掛けています。
- わさびだけでなくわさびソフトやわさびそばなど多種多様な商品がある。

日本海石地わさび園の商品(一部)



本生わさびセット



石地わさびセット A



わさび屋さんのおかきセット



わさび屋さんのわさびのりセットA

日本海石地わさび園HPによる引用

ご清聴ありがとうございました



シモダファームの越後バナナ



金ゼミの堀菜園のじゃがいも